



令和 7 年度 F C 東京との連携協力事業報告書



生活文化スポーツ部スポーツ振興課

令和7年度F C東京連携協力事業一覧表

No	担当課	事業名	新規・継続
1	企画経営課	ふるさと納税返礼提供事業	継続
2	企画経営課	F C東京ホームゲーム×調布駅前商店街消費UPプロジェクト	新規
3	広報課、 スポーツ振興課	市公式SNS（LINE・X（旧ツイッター））や市報での情報発信	継続
4	人事課	令和8年度調布市職員採用案内	継続
5	人事課	令和7年度調布市新任職員研修	継続
6	総合防災安全課	特殊詐欺被害防止啓発活動	新規
7	総合防災安全課	令和7年度調布市防災訓練・防災フェア	継続
8	文化生涯学習課	ちょうふピースメッセンジャージュニア	継続
9	文化生涯学習課	調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト2025	新規
10	文化生涯学習課	調布市パラアート展	継続
11	協働推進課	ちょみっと「X」フォロー&リポストキャンペーン	継続
12	産業振興課	バナーフラッグ作成・掲示	継続
13	スポーツ振興課	あおあかドリルの配布	継続
14	スポーツ振興課	F C東京×朝活	継続
15	スポーツ振興課、 産業振興課	調布市F C東京と連携したまちづくり等の推進に関するプロジェクトチーム	継続
16	スポーツ振興課	「調布市と東京フットボールクラブ株式会社との包括連携に関する協定」の締結	新規
17	スポーツ振興課	F C東京「調布市制70周年記念 Day」	新規
18	スポーツ振興課、 総合防災安全課、 文化生涯学習課、 産業振興課、 児童青少年課、 障害福祉課、図書館	F C東京「調布の日」	継続
19	スポーツ振興課	子どもサッカー体験教室	継続
20	スポーツ振興課	小学生サッカークリニック及び指導者講習会	継続
21	スポーツ振興課、 産業振興課、 文化生涯学習課、 子ども政策課	第5回青赤ストリート	継続
22	スポーツ振興課	F C東京レディースフィットネス・はじめてのなでしこサッカー教室	新規
23	スポーツ振興課、 指導室、 調布市スポーツ協会	部活動地域連携・地域移行推進事業 地域連携推進事業トップスポーツチーム連携 F C東京サッカークリニック	継続
24	スポーツ振興課	F C東京リーグ戦等の情報発信	継続
25	スポーツ振興課	F C東京応援機運醸成に向けた取組	継続
26	スポーツ振興課、 広報課、 調布市文化・コミュニティ振興財団	F C東京J1百年構想リーグに向けた取組	新規
27	スポーツ振興課・企画経営課・営繕課・総合防災安全課・緑と公園課・まちづくり推進課	F C東京と連携した調布基地跡地留保地の活用	新規
28	子ども政策課	いじめや虐待のないまち宣言PR事業	継続
29	子ども政策課	フードリボンプロジェクト	新規
30	児童青少年課	児童館交流サッカー大会「J's cup」	継続
31	福祉総務課	「社会を明るくする運動」PR活動	継続
32	高齢者支援室	F C東京 高齢者体操教室	継続

33	障害福祉課	F C 東京あおぞらサッカースクール	継続
34	障害福祉課	調布市障害者余暇活動支援事業（ほりでーぷらん）	継続
35	障害福祉課	東京 2025 デフリンピック普及啓発事業	新規
36	環境政策課	調布市環境基本計画中間報告会～F C 東京 石川 直宏氏 トークショー～	新規
37	環境政策課	調布市環境フェア	新規
38	環境政策課	飛田給駅前クリーン作戦	継続
39	道路管理課	調布市制施行 70 周年記念看板作成	新規
40	交通対策課	高齢者等運転免許自主返納サポート事業	継続
41	交通対策課	F C 東京によるランドセルカバーの寄贈	継続
42	指導室	F C 東京選手会 小学校訪問授業	継続
43	図書館	「F C 東京選手の私のすすめるこの一冊 2025」発行	継続
44	調布市スポーツ協会	CHOFU SPORTS キャンプ 2025	継続
45	調布市スポーツ協会	第 11 回調布市小・中学生バレーボール交流大会	継続
46	調布市スポーツ協会	第 65 回調布市民スポーツ大会 開会式（動画配信）	継続
47	調布市スポーツ協会	第 43 回調布市民スポーツまつり	継続
48	調布市スポーツ協会	調布市パラスポーツ体験会	継続
49	調布市スポーツ協会	第 23 回調布フットサル大会	継続
50	調布市スポーツ協会	第 70 回調布市民駅伝競走大会	継続
51	社会福祉協議会	共同募金調布地区協力会	継続
52	調布市文化・コミュニティ振興財団	「ちょうふ彩咲祭」出前パフォーマンス	新規
53	調布市文化・コミュニティ振興財団	「ちょうふ彩咲祭」キックターゲット	新規
54	調布市文化・コミュニティ振興財団	映画のまち調布 シネマフェスティバル	継続

所管	企画経営課	
事業名称	ふるさと納税返礼提供事業	継続
実施日	通年実施	
実施内容	2022年から調布市ふるさと納税返礼提供事業にご参画いただいているF C東京から、味の素スタジアムでのホームゲームにて観客向けに提供しているゴールデンエールビール「FC TOKYO GOLDEN ALE」を、返礼品限定の缶仕様で提供いただき、希望する寄附者に届けた。令和7年4月から令和7年12月までの間に、120件を超える申込をいただくことができた。	
今後の方向性や課題等	 両担当者間で円滑な打合せのもと、返礼品の提供や広報などについて検討することができた。昨年度に引き続き、寄附者から多数の申込があり、F C東京と調布市の連携を広く市外の方にも知っていただくことができた。今後も、市の連携・応援施策の一つとして、F C東京の魅力を広く発信すべく、返礼品のバリエーションを拡大させながら、返礼提供を継続していきたい。	



所管	企画経営課		
事業名称	F C東京ホームゲーム×調布駅前商店街消費UPプロジェクト		新規
実施日	令和8年2月		
実施内容	【プロジェクト参加者】 調布駅前商店街・F C東京・京王電鉄株式会社・株式会社東京スタジアム・調布市・株式会社Unerry（プロジェクトマネジメント） ※プロジェクトに係る経費は全額東京都が負担 【概要】 令和8年2月28日(土)の味の素スタジアムでのF C東京のホームゲーム開催にあわせ、試合前後の観戦者（サポーター）の調布駅前商店街への回遊・消費を促進するスタートアップサービスの実証実験を行う。試合後、各施策が人流にどのような影響を与えたかを分析し、関係者で共有した。 ①インフルエンサーがSNSで調布駅前商店街にある店舗の魅力を発信 ②デジタルマップで調布駅周辺の店舗情報などを紹介 ③試合当日、「歩くサイネージ」を活用してスタジアム敷地内で来場者にPR 【F C東京との連携】 観戦者（サポーター）に訴求する発信内容になるようご助言いただくほか、試合日にスタジアムで「歩くサイネージ」を活用したPRができるよう、会場の調整をしていただいた。		
今後の方向性や課題等	 スマートフォンでサイネージに表示されたQRコードを読み込むと、デジタルマップを見ることが出来ます  歩くサイネージでスタジアム敷地内を周り、調布駅前商店街の店舗情報をPRしました ・味の素スタジアムホームゲーム開催日の人流について、データに基づく課題を共有したうえで、施策の検討ができたこと、また、実証実験前後で比較し、効果検証の視点を持つことで、EBPMを実践する取組となった。 ・東京都の補助事業を活用し、費用の管理および導入サービスの提案を含め、民間事業者のプロジェクトマネジメントの下、実証的な取組をすることができ、各関係者の費用負担なく、共通の目標に向けて取り組むことができた。 ・今後は、各関係者の視点で試行的な取組の振り返りを行い、より相乗効果を生み出せることを意識し、実装に向けた検討を行う必要がある。		

所管 広報課、スポーツ振興課

事業名称 市公式SNS（LINE・X（旧ツイッター））や
市報での情報発信

継続

実施日 事業告知などのタイミングで随時実施

実施内容 F C東京を応援するため、青赤ストリートなどの取組を、公式SNS（調布市LINE
公式アカウント・X）で写真とともに配信したほか、デフリンピックの期間中はコ
ラボ動画をInstagramに投稿した。
また、市報ちょうふでは、リーグ開幕時の特集を掲載するほか、ホームゲームへの
市民招待や青赤ストリートなどF C東京関連の事業を適宜掲載した。



今後の
方向性や
課題等

新たなファンの獲得につなげるため、選手だけでなく、個性あるコーチ・スタッフ
へインタビューするなどできたら、F C東京を身近に感じてもらうことができ、面
白い企画につながると思う。

所管	人事課
事業名称	令和8年度調布市職員採用案内 継続
実施日	令和7年3月
実施内容	○発行部数 1,000部（採用試験受験者向け） ○概要 魅力的な採用案内を制作し、多くの方々に手に取って読んでいただくため、市のPRの一環として、職員採用案内にFC東京との連携事業（青赤ストリート等）を掲載した。
今後の方向性や課題等	○FC東京等様々な主体と連携したスポーツ振興を進めている「スポーツの盛んなまち」として市のPRにも繋がり、市職員採用試験には多数の申込があった。



所管	人事課	
事業名称	令和7年度調布市新任職員研修	継続
実施日	令和7年4月7日（月）	
実施内容	○概要 令和7年4月1日付け新規採用職員を対象とする新任研修の一環として、市内指定地区をグループに分かれて巡り、市の公共施設や関連施設を訪問することで、利用者や施設関係者の声を聞き、調布市の特徴や魅力を知ることが目的とする研修 ○研修日当日は、市内の西ルートグループの新任職員14名がFC東京事務所、青少年ステーションCAPS、味の素スタジアム、子ども発達センターを訪問。 ○FC東京事務所では、調布市との連携事業やFC東京の地域貢献事業等についてFC東京スタッフから説明を受け、市とFC東京との関係性を学んだ。	
		
今後の方向性や課題等	○普段はなかなか行くことがないFC東京の事務所を訪問し、FC東京スタッフから直接調布市への思いや連携事業等について説明を受ける貴重な機会となっている。 ○新任職員からは、「FC東京の試合を観戦に行きたい」「FC東京がサッカー以外にもこれだけの地域貢献をしていることが分かった」等の感想があった。 ○調布市職員として、スポーツ振興のみならず、様々な分野で連携したまちづくりを行っているFC東京について学ぶ良い機会となることから、今後も実施していきたい。	

所管	総合防災安全課	
事業名称	特殊詐欺被害防止啓発活動	新規
実施日	令和7年8月10日（日）	
実施内容	○概要 「調布市制70周年記念 Day」にて、特殊詐欺被害啓発ブースを設置し、調布警察署と連携して、来場者に対し啓発活動を行った。 ○実施時間 午前11時から午後7時まで ○実施会場 青赤パーク（アジパンダ広場内） ○実施内容 チラシや啓発品の配布、パトカーとの記念撮影	
今後の 方向性や 課題等	 	
	年齢を問わず幅広い方に対して、特殊詐欺の現状を知っていただき、啓発活動を行うことができた。 今後、コラボした啓発グッズの作成するなど、より特殊詐欺被害に関心を持ってもらえるような連携事業の実施を検討していきたい。	

所管	総合防災安全課	
事業名称	令和7年度調布市防災訓練・防災フェア	継続
実施日	令和7年10月11日（土）	
実施内容	令和7年度調布市防災訓練・防災フェアにおいてF C東京、東京ドロンパグリーディングを実施。 対象：訓練参加者 時間：午前10時から午後3時30分まで 会場：味の素スタジアム（あじペン広場） 参加費：無料 【参加人数（延べ人数）】 1, 200人（上記訓練の参加者の合計、主催者発表） ※この他、F C東京とコラボした市政70周年手ぬぐいを配布	
		
今後の方向性や課題等	総合防災訓練への関心が低い市民に対し、訓練への参加を促進するため連携事業を実施。 家族連れに対し、集客効果があった状況 今後も継続実施の希望であるが、他出店ブースとのコラボ等、より効果的な集客方法を検討していきたい。	

所管 文化生涯学習課

事業名称 ちょうふピースメッセンジャージュニア

継続

実施日 令和7年5月18日（日）から同年12月6日（土）まで

実施内容 【ピースメッセンジャージュニアの取組】
 令和7年5月31日から6月1日まで京都派遣、立命館大学国際平和ミュージアムで平和学習・見学を実施した。7月19日には都内にある戦争関連施設を見学し、8月10日には味の素スタジアムにて、調布市制70周年記念試合のホームタイムに本事業のバナーフラッグを用いてピッチ周回を行い、サポーターへの周知を図った。12月6日には「第5回青赤ストリート」の会場内のステージでこれまでの活動の報告を行ったほか、学習した内容や感じたことをまとめたメッセージボードも会場内に展示した。
 FC東京の石川直宏CGには任命式にて応援メッセージをいただき、京都派遣にもご同行してもらい、一緒に平和の大切さを学んだ。

今後の
方向性や
課題等

ピースメッセンジャージュニアの取組は、FC東京と連携し、試合観戦と平和学習を組み合わせた事業を実施することで、サッカーにだけ興味がある小学生は平和に興味をもってもらい、平和にだけ興味がある小学生はサッカーに興味をもってもらい、多角的に物事を考えられるようになることを企図している。サッカーと平和は切っても切り離せない分野であり、石川CGが小学生と一緒に、戦跡や資料館を回することで、平和学習の意識付けがより深まるように感じる。
 次年度以降も、FC東京、協賛企業と連携して事業実施していきたい。

所管	文化生涯学習課	
事業名称	調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト2025	新規
実施日	令和7年7月8日（火）から同年9月30日（火）まで ※募集期間	
実施内容	調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト2025の応募者募集に当たり、応募のきっかけづくり及び市制70周年記念として、70周年ロゴシールのほか、F C東京からご提供いただいた「東京ドロンパ」ノートを先着順に配布した。応募作品数は計110作品となり、昨年度よりも65作品の増となった。	
		
今後の方向性や課題等	当コンテストへの応募者のモチベーションにつながった。また、市のホームページや窓口では、F C東京と連携して平和事業に取り組んでいることをPRし、より興味を持っていただくきっかけとすることができた。	

所管	文化生涯学習課	
事業名称	調布市パラアート展	継続
実施日	令和7年10月2日（木）から同月8日（水）まで	
実施内容	東京2020大会の開催を契機に障害者のスポーツのみならず文化芸術の発展に繋げるため、平成29年度から市内の福祉作業所や特例子会社等で制作されたアート作品を展示する「調布市パラアート展」を開催している。 令和7年度は、これまでどおりテーマを設けずに自由に制作した作品を展示する「自由制作部門」のほか、市制施行70周年を記念し、“70歳の調布への贈り物”をテーマに作品を募集し、応募作品の中から調布ゆかりのスポーツ団体や企業が作品を選んで表彰する「アワード部門」の二部構成で開催した。「アワード部門」では、FC東京にも協力団体として作品の選定・表彰をしていただいた。展示開催期間中には授賞式を実施し、石川CGから受賞者へのビデオメッセージを放映した。	
今後の方向性や課題等	昨年度同様「アワード部門」を設け、授賞式ではアーティストへのビデオメッセージをいただいたことで、制作者のアート制作のモチベーション向上や福祉施設とのネットワーク構築につながった。 次年度以降も引き続きFC東京と連携し、文化芸術の振興を通じて共生社会の重要性をこれまで以上に発信していきたい。	



所管	協働推進課
事業名称	ちょみっと「X」フォロー&リポストキャンペーン 継続
実施日	令和7年10月1日（水）から同月19日（日）まで
実施内容	「第12回調布まち活フェスタ」をPRするとともに、ちょうふ地域コミュニティサイト「ちょみっと」に掲載している市内イベント及び活動団体情報を投稿している「X」の認知度向上を図るため、FC東京選手サイン入りクリアサコッシュを抽選でプレゼントするフォロー&リポストキャンペーンをFC東京と連携して行う。参加者数は347名。  試合観戦にも使える☆ FC東京選手サイン入り クリアサコッシュが 5名様に当たる!! 【応募方法】 ① @chofu_chommit をフォロー ② 対象の投稿をリポスト 【リポスト対象期間】 10/1(水)～10/19(日) 今回のサインにご協力いただいた選手は以下の5人です★ アレクサンダー ショルツ 選手 岡 哲平 選手 室屋 成 選手 依積田 晃太 選手 橋本 拳人 選手
今後の方向性や課題等	引き続き、フォロー&リポストキャンペーン等、SNSを通じた連携を図っていくことに加え、FC東京が行っているスポーツボランティア等の社会貢献活動を「ちょみっと」にて紹介していくなど、更なる連携を深めていきたい。

所管	産業振興課
事業名称	バナーフラッグ作成・掲示 継続
実施日	令和4年2月から（順次掲示）
実施内容	市内商店会の街路灯へF C東京のオリジナルバナーフラッグを取り付け、市としてF C東京を応援する事業。 ・掲示場所 スタジアム通り、飛田給、西調布、調布駅周辺、市役所
今後の方向性や課題等	調布市がF C東京を応援していることを、市を訪れた人たちに効果的に伝えることができた。 来年度についても引き続き掲示することで、F C東京との関係を強化していきたい。



所管	スポーツ振興課
事業名称	あおあかドリルの配布 継続
実施日	令和7年5月29日（木）
実施内容	F C東京がホームタウンの子供たち向けに作成した、あおあかドリルを実際にF C東京の担当者と共に市内小学校の児童に配布。
今後の方向性や課題等	F C東京・教育委員会と連携し、小学校でのあおあかドリルを活用した授業の実施を引き続き進めていく。

所管	スポーツ振興課	
事業名称	FC東京×朝活	新規
実施日	令和7年6月7日、21日（土）	
実施内容	働く大人や子育て世代の主婦、運動時間が確保できない方、運動不足を感じている方などが対象の、誰でも簡単に参加しやすい運動をメインとした朝活事業。休日の朝から運動することで、基礎代謝を高め、睡眠の質や集中力の向上につなげることを目的として実施した。 対象：市内在住、在勤、在学の18歳以上 会場：市民西町サッカー場 参加人数：6/7 22人、6/21 13人 参加費：無料	
		
今後の方向性や課題等	昨年度に初めて実施し、大変好評だった朝活を今年度も実施した。昨年度のアンケートでも、複数回実施の要望があったことを踏まえ、単発ではなく2回開催とした。2回目の参加者の中には、初回に参加された方も多く、運動習慣定着へ一定の効果があったと考えられる。 一方で、今回は無事開催できたが、6月は梅雨で雨天の懸念があることや、朝の時間でも気温が高いことが懸念されるので、開催時期は検討していきたい。	

所管	スポーツ振興課、産業振興課	
事業名称	調布市FC東京と連携したまちづくり等の推進に関するプロジェクトチーム	継続
実施日	令和7年7月23日（水）	
実施内容	F C東京創設20周年を契機に、F C東京と連携した協働のまちづくり等を推進することを目的として設置（平成30年1月）。副市長をリーダーとし、各部が推薦した委員から構成され、F C東京と連携したスポーツ振興、青少年の健全育成、市民の健康づくり及び地域経済活性化等に資する協働のまちづくりの推進について検討・情報共有する場であり、令和6年度のF C東京との連携協力事業や令和7年度実施予定の連携事業について報告を行った。 令和7年度委員数：21人 ○議題 ・調布市制施行70周年記念事業について ・第5回青赤ストリートの開催について 等	
		
今後の方向性や課題等	F C東京を活用した取組をしている部署は多くあるものの、参加する部署や取組に大きな変化がないことが引き続き課題である。F C東京にもご提案いただきながら、これまで連携事業を実施してこなかった部署にも積極的にF C東京を活用してもらえよう働きかけていく。	

所管	スポーツ振興課	
事業名称	「調布市と東京フットボールクラブ株式会社との包括連携に関する協定」の締結	新規
実施日	令和7年8月10日（日）	
実施内容	調布市とFC東京はこれまで、市民スポーツの振興をはじめ、青少年の健全育成、文化、福祉、地域経済の活性化等の様々な分野で連携したまちづくりに取り組んできた。 これまでの取組を通して築いてきた両者の強固なパートナーシップを更に発展させ、それぞれが有する資源を有効に活用して、協働による取組を一層充実させることにより、様々な分野におけるまちづくりの多面的な効果を創出することを目的として「調布市と東京フットボールクラブ株式会社との包括連携に関する協定」を締結した。 ○連携事項 ・スポーツ振興に関すること ・市民の健康・福祉の増進に関すること ・子どもの健全育成・教育に関すること ・地域の活性化及びまちづくりに関すること ・協働の推進に関すること ・市政情報の発信・PRに関すること ・調布基地跡地留保地の活用に関すること	
	 	
今後の方向性や課題等	本協定の締結を機に、これまで長期にわたって築いてきた両者の強固なパートナーシップをさらに発展させ、まちづくりにおける多面的な効果の創出、連携事業の更なる充実を目指していく。	

所管	スポーツ振興課
事業名称	F C東京「調布市制70周年記念 Day」 新規
実施日	令和7年8月10日（日）
実施内容	令和7年8月10日（日）に開催した2025明治安田J1リーグ第25節F C東京vs鹿島アントラーズにて、市制施行70周年を記念し、「調布市制70周年記念 Day」及び「調布の日」を開催。 「調布市制70周年記念 Day」における取組として、下記を実施した。 ・「調布市制70周年記念 Day」特設ブース 市制70周年をPRする特設ブースとして、特別Tシャツやオリジナルグッズが当たる抽選会を実施 ・「調布市制70周年記念 Day」オリジナル動画 F C東京ファン・サポーターにおなじみの橘ゆりかさんとF C東京公式マスコットキャラクター東京ドロンパが出演する「調布市制70周年記念 Day」オリジナル動画を制作し、当日スタジアム内の大型映像機にて放映 ・「調布市制70周年記念 Day」特別Tシャツ 市制70周年のPRを目的に試合前の選手入場時に着用する特別Tシャツを制作
	  
	   
今後の方向性や課題等	これまでのF C東京との連携の中でも、最も規模が大きいイベントの一つであった。また、本事業に向けて制作した動画を後日スポーツ振興課X（東京都調布市スポーツインフォメーション）と市のYouTubeチャンネルに掲載したところ、閲覧数が6万を超える（R8.2.13時点）など、当日スタジアムに来られなかった方に向けても市とF C東京の強い結びつきを示すことができた。今回の経験を活かして、F C東京との連携をより強固なものとしていく。

所管	スポーツ振興課、総合防災安全課、文化生涯学習課、産業振興課、児童青少年課、障害福祉課、図書館	
事業名称	FC東京「調布の日」	継続
実施日	令和7年8月10日（日）	
実施内容	令和7年8月10日（日）に開催した2025明治安田J1リーグ第25節FC東京vs鹿島アントラーズにて実施した「調布市制70周年記念 Day」と併せて「調布の日」として、市民招待（750組1,500人）に加えて、隣接するエリアで開催される青赤パークにおいて、下記の取組を実施。 ・東京2025デフリンピックPR（スポーツ振興課、障害福祉課） 「エールの花束プロジェクト」のワークショップやパネル展示 ・ちょうふピースメッセンジャージュニアによる活動報告展示（文化生涯学習課） 活動の様子がわかるパネルや平和への想いをまとめたメッセージボードの展示 ・調布の観光情報PR（産業振興課） 深大寺をはじめ、「調布花火」「映画のまち調布」「水木マンガの生まれた街 調布」などたくさんの魅力が溢れる調布の観光情報の発信 ・特殊詐欺被害撲滅に向けたPR（総合防災安全課） 特殊詐欺について、調布警察署と連携し、幅広い世代に向けて啓発活動を実施。 また、パトカーの展示も行い、地域とのふれあい活動を実施 ・和太鼓パフォーマンス披露（児童青少年課） ・FC東京選手の私のすすめるこの一冊2025の配布（図書館）	
今後の 方向性や 課題等	 	
	青赤ストリートと異なり、スタジアム来場者全員が来る場所にブースを出展していなかったが、雨天にも関わらず、FC東京サポーターのほか鹿島アントラーズサポーターなど多くの方が来場した。 今後もさらに足を運びたいと思ってもらえるよう、他部署と協力して内容をさらに充実させ、市の魅力を発信していきたい。	

所管 スポーツ振興課

事業名称 子どもサッカー体験教室

継続

実施日 令和7年11月1日（土）

実施内容 サッカー未経験・初心者子どもたちを対象に、FC東京の普及部コーチによるサッカー教室を開催。
市内在住・在学の年中・年長児～小学3年生を対象とし、午前に年中・年長児の部（第一・二部）、午後に小学1年生から3年生の部（第三部）の三部構成で開催した。参加者からは「次も参加したい!」「すごく楽しかった。」といった感想をいただいた。

対象：市内在住・在学の年中・年長児～小学3年生

会場：市民西町サッカー場

参加費：無料

【参加人数（延べ人数）】

年中・年長児（第一部）18組36人

年中・年長児（第二部）16組32人

小学生1～3年生（第三部）38人

計106人



今後の
方向性や
課題等

例年人気の事業であるが、昨年度に続き今年度も定員以内の申込となった。それでも、100名以上の参加者がいる人気事業なため、来年度以降も継続実施の予定だが、未就学児の部は、より親子で参加できるようなプログラムにしていこう検討していく。

所管 スポーツ振興課

事業名称 小学生サッカークリニック及び指導者講習会

継続

実施日 令和7年11月29日（土）、同年12月20日（土）

実施内容 調布市少年サッカー連盟と連携しながら、味の素スタジアムに隣接する調布基地跡地運動広場サッカー場にて、小学生を対象としたプロコーチによる指導を実施。また、サッカーチームのコーチを対象とした指導者講習会も併せて実施。

参加人数：11/29 1年生97人、4年生83人
12/20 2年生166人、3年生156人



今後の
方向性や
課題等

FC東京と連盟との間で都合の良い日程がなかなか決まらず、調整に時間を要した。
これまでは、ある程度時期を限定して施設の空き状況をFC東京に伝えていたが、連絡の手間が少しでも省けるよう、年間の施設の空き状況を共有し、早めに調整を依頼するなど対応していく必要がある。

所管	スポーツ振興課、産業振興課、文化生涯学習課、子ども政策課	
事業名称	第5回青赤ストリート	継続
実施日	令和7年12月6日(土)	
実施内容	味の素スタジアムで開催されたJ1リーグ2025シーズン最終戦となる第38節(対アルビレックス新潟)にあわせ、飛田給駅から味の素スタジアムまでの通称「スタジアム通り」を歩行者専用道路とするイベントを開催。 また、調布市ブースでは、文化生涯学習課と子ども政策課のパネル展示のほか、産業振興課による調布花火・ガチャグッズが当たる抽選会や「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」の取組、深大寺など市の観光情報の発信、スポーツ振興課による8月10日(日)の調布市制70周年記念 Dayで選手が着用した特別Tシャツ(サイン入り)が当たる抽選会を実施。 ステージではちょうふピースメッセンジャージュニアによる活動報告や、明治大学のお笑いサークル「木曜会Z」によるお笑いライブなどを実施。 イベントには36,000人を超えるファン・サポーターが来場した(来場者数=試合観客数)。 【出展内容】 ・グッズ抽選会(スポーツ振興課、産業振興課) ・調布市観光PRブース(産業振興課) ・ちょうふピースメッセンジャー・ピースメッセンジャージュニア活動報告展示(文化生涯学習課) ・フードリボンプロジェクトパネル展示(子ども政策課) ・キッチンカー出店 ・ステージイベント ピースメッセンジャージュニア活動報告、WINDYSによるチアダンス、明治大学お笑いサークル「木曜会Z」によるお笑いライブ、D'zダンススクールによるダンスパフォーマンス 等	
今後の方向性や課題等	抽選会に多くの方が訪れることが予想されたため、コーンやバーの設置等で列整理を行ったが、予想を超える来場があったことで、スタジアムに向かう方の通行の妨げになってしまう時間帯があった。抽選会待機列の導線には、文化生涯学習課と子ども政策課のパネルを展示し、待ち時間にパネルを見ていただけるよう工夫した。 スポーツ振興課の抽選会は1時間半ほどで終了してしまったことから、今後抽選会を実施する場合は実施時間の調整や在庫数の精査をしていく必要がある。 青赤ストリートにはFC東京ファンはもちろん、遠方からのビジターチームファンも多く訪れるため、さまざまな部署・団体と連携しながら、市のPRとスタジアム周辺のにぎわいの創出と地域経済の活性化につながる取組を行っていく。 ステージ出演団体への打診や市ブースの出展内容を決めるタイミングが少し遅かったため、開催日やイベントのコンセプトが決まり次第、早々に動き出しを行いたい。 産業振興課では、調布市PRブースにて、市内観光情報等のチラシを配架し、調布市の魅力を紹介。また、観光協会の公式Xフォローキャンペーンを行い、継続的な情報発信につなげた。 今後もより効果的な魅力発信につながるよう、イベントの紹介や物産品販売等、充実したPR方法を検討していきたい。	



所管 スポーツ振興課

事業名称 FC東京レディースフィットネス・はじめてのなでしこ
サッカー教室

新規

実施日 令和8年3月1日（日）

実施内容 子育て世代である20代から30代を主とした女性のスポーツ実施率の割合が相対的に低い傾向にあり、女性の運動機会創出につなげることを目的に、対象を女性に限定して、今年度初めて開催した。
レディースフィットネスは、誰でも簡単に参加しやすい運動をメインに、サッカーを入口として運動習慣をつけることができるような内容、はじめてのなでしこサッカー教室は、初心者の女の子が気軽に参加でき、サッカーに触れる入口となるような内容で開催した。

【実施概要】

対象：市内在住、在勤、在学の中学生以上の女性/市内在住・在学の小学生の女子

会場：京王アリーナTOKYO サブアリーナ

参加人数：14人/18人

参加費：無料



今後の
方向性や
課題等

本事業は今年度から新たに実施した事業で、女性限定ということもあり、参加者数に懸念があったが、レディースフィットネスは18人、はじめてのなでしこサッカー教室は定員に対して2倍を超える申し込みがあり、非常に高いニーズがあるように感じた。

次年度以降も、参加者アンケートの結果を踏まえながら継続して実施していきたい。

所管 スポーツ振興課、指導室、スポーツ協会

事業名称 部活動地域連携・地域移行推進事業 地域連携推進事業
トップスポーツチーム連携 FC東京サッカークリニック

継続

実施日 令和7年12月13日（土）から令和8年1月31日（土）の間 計6回

実施内容 調布市立中学校部活動地域連携・地域展開推進事業・地域連携推進事業の一環として令和7年度トライアル事業を実施。
調布市ゆかりのトップスポーツチームによる地域資源を活用し、特性あるクラブ運営の可能性を探る。連携のあり方や仕組みを模索。
内容としては選手のスキルアップや既存指導者へのアプローチを行う。
市立中学校7校のサッカー部を対象に計6回実施し、132人が参加した。
※当初、全8回実施予定だったが、うち2回は雨天のため中止した。

□実施日程・会場・参加者数

	12/13（土）	12/14（日）雨天中止	12/20（土）	12/21（日）	1/31（土）
9:00-11:00		調布中・第五中 (会場/調布中)	第八中（14）	第三中・第七中 (19) (会場/第三中)	第三中・第七中 (21) (会場/第三中)
13:00-15:00	第六中（14）	第三中・第七中 (会場/第三中)	神代中（41）	調布中・第五中 (23) (会場/調布中)	



今後の
方向性や
課題等

学校側にFC東京や市の意図を理解いただき、前年度よりも現場の受け入れ体制が整っていたため、スムーズに実施できた。
FC東京が提供するメニューを、実態やレベルに応じて自分たちで組み直すなど、学んだことを吸収し、実践する学校もあり、子どもたちのスキルアップに貢献することができた。
引き続き、FC東京をはじめさまざまなトップスポーツチームと連携しながら、部活動の地域連携・地域展開に向けて取り組んでいく。

所管	スポーツ振興課
事業名称	F C東京リーグ戦等の情報発信 継続
実施日	随時
実施内容	市民の応援機運醸成の取組として、市公式HPやSNSでF C東京に関する情報を発信した。
	【SNSの発信内容】 ・ J 1 リーグ戦の試合結果 ・ F C東京応援デー F C東京のホームタウンのなかでも株主である6市（調布市・三鷹市・府中市・小金井市・小平市・西東京市）の職員が、チームの勝利を願い、ユニフォームをはじめとしたF C東京グッズを身に付けて1日業務にあたる日に、各市のSNSで当日の様子や市内イベントの参加者の写真や動画をリレー形式で発信するもの ・ 室屋選手、長倉選手のコメント動画 等 8/10(日)の #FC東京 vs #鹿島アントラーズ 戦では、#調布市制70周年記念Dayを開催！ 試合に向け、昨日の #天皇杯 で決勝点を決めた #長倉幹樹 選手からメッセージをいただきました ✨ HPでは当日の実施内容を更新しておりますので、ぜひご覧下さい❖ city.chofu.lg.jp/040070/p026417... #調布 #fctokyo  【J1リーグ第29節結果】 #FC東京 1-0 #東京ヴェルディ 前半はお互い得点スコアレスで折り返すと、後半に #長倉幹樹 選手がルーブシュートを決めて先制！ その後も集中したプレーを続け1-0で勝利しました 🏆 次は #川崎フロンターレ と対戦 !! #多摩川クラシコ も勝利に期待です 🍀 #東京は青空 FC東京【公式】 #東京が熱狂 @fctokyofficial · 2025/09/15 🔴🔵 FULL TIME #JALDay 2025 明治杯 J1リーグ第29節 #FC東京 1-0 #東京ヴェルディ ホーム脱スタで無失点勝利!!!!!! 🙌🙌🙌🙌🙌🙌🙌🙌🙌🙌 We Are TOKYO!!!!!! 🙌🙌🙌🙌 #fctokyo #tokyo FC TOKYO vs TOKYO VERDY 
今後の方向性や課題等	F C東京関連のポストは視聴回数も多く、市民だけでなく、F C東京ファン・サポーターからも注目されている。 F C東京と連携を図りながら、F C東京関連イベント時にはその都度情報を発信し、「調布市＝F C東京のまち」というイメージをより強めていきたい。

所管	スポーツ振興課	
事業名称	F C東京応援機運醸成に向けた取組	継続
実施日	通年	
実施内容	・オリジナルグッズ制作 F C東京のエンブレムを使用したステッカーや缶バッジを製作。グッズはF C東京関連のイベント時に配布した。 ・調布駅広場口屋根のライトアップ 11月16（日）に国立競技場で開催された天皇杯の準決勝（対F C町田ゼルビア）に向けて、11月10（月）から15日（土）の期間中、調布駅広場口の屋根をF C東京カラーである青赤にライトアップした。	
今後の方向性や課題等	 令和7年度の取組として、調布駅広場口屋根のライトアップを新たに実施したところ、F C東京ファン・サポーターからも大きな反響があった。我らがF C東京をまち全体で応援する機運の醸成を図っていくため、今後もF C東京と連携し、リーグ開幕や最終戦など、大事な節目の試合開催時には応援機運醸成に向けてさまざまな取組を実施していきたい。	

所管 スポーツ振興課、広報課、調布市文化・コミュニティ振興財団

事業名称 F C東京 J 1 百年構想リーグに向けた取組

新規

実施日 令和8年2月

実施内容 明治安田 J 1 百年構想リーグの開幕を迎えることを受け、応援企画を実施。

- ・市報を中心とした各種広報媒体での開幕PR
開幕に向けて、市報2月5日号に菅原悠太選手、北原慎選手、大森理生選手の写真とコメントを1面で掲載した。また、X等各種SNSでの広報も実施した。
- ・F C東京からのメッセージ動画
北原選手による調布市向けのメッセージ動画の発信
- ・青赤ライトアップ
調布駅広場口屋根や調布市文化会館たづくり外壁のLED照明を期間限定でF C東京カラーである青赤に点灯
- ・庁内放送
F C東京の開幕戦前日の2月6日（金）に松橋監督から市民に向けたメッセージを放送



今後の
方向性や
課題等

明治安田 J 1 百年構想リーグは、通常のリーグとは異なる特殊なリーグ戦であり、市報の1面掲載やSNS発信を通じて、今回のリーグ戦について多くの方にPRできたことはよかった。

通常のJ 1リーグは8月開幕に変更されるので、シーズン開幕に向けた取組もスケジュールに留意しながら実施していきたい。

所管

スポーツ振興課・企画経営課・営繕課・総合防災安全課・緑と公園課・まちづくり推進課

事業名称 F C東京と連携した調布基地跡地留保地の活用

新規

実施日

通年

実施内容

F C東京からの打診を受け、調布基地跡地留保地を活用した施設整備について、継続的に協議・検討を行い、令和7年6月に具体的な取組に関する提案を受けた。その後、令和7年8月に「調布市と東京フットボールクラブ株式会社との包括連携協定」を締結するとともに、「調布基地跡地留保地の活用による施設整備に関する基本的な考え方」をとりまとめ、留保地の活用に向けた基本的な方向を整理した。令和7年12月には「調布基地跡地留保地施設整備基本計画」を策定し、施設整備の方向を具体化するとともに、令和8年2月には基本計画に基づく施設整備に向け、基本設計等に着手した。

これまでの経緯など詳細はHPを参照。

<https://www.city.chofu.lg.jp/O40070/p026434.html>



引用：

調布基地跡地留保地施設整備基本計画

今後の方向性や課題等

令和8年度は、基本計画に基づく施設整備の実現に向け、関係機関等との協議・調整を図りながら、主に以下の取組を進める。

- ・用地取得等
- ・設計
- ・整地工事

所管 子ども政策課

事業名称 いじめや虐待のないまち宣言PR事業

継続

実施日 令和7年11月8日(土)

実施内容 「いじめや虐待のないまち宣言」を広く周知するため、子ども達に「みんな なかよし」をテーマに、描いてもらった絵をシールに加工して、ごみ収集車へ貼ることで、普及啓発を目的としたPR事業を実施している。

今年度は絵の募集と併せて「いじめや虐待のないまち『みんな なかよし!』になるためにはどうしたらよいか。」というテーマについて意見を募集し、ごみ収集車出発式当日に意見をまとめたものを配布した。

また、国領駅近くの「あくろす」にて、12月12日から1月12日まで、絵の展示会を開催した。

なお、FC東京からいただいた協賛品は、ごみ収集車出発式終了後に、参加賞として子ども達へ配布した。(出発式欠席者には令和8年3月6日まで配布予定)

【参加者】

小学1～6年生 114名



今後の
方向性や
課題等

ごみ収集車出発式では、ごみ収集車の前や運転席に座って楽しそうに写真撮影をする家族連れで賑わっていた。今年度からは絵の募集と併せて、「いじめや虐待のないまち『みんな なかよし!』になるためにはどうしたらよいか」というテーマについて意見を募集し、子どもたちの意見を共有する機会を設けた。これにより、いじめや虐待のない「みんな なかよし!」なまちづくりの促進に寄与する機会となった。

参加賞を受け取った子どもたちも非常に喜んでおり、今後もこのような取り組みを継続していきたい。

所管	子ども政策課
事業名称	フードリボンプロジェクト 新規
実施日	令和7年10月31日（金）
実施内容	「子どもの食の確保支援や貧困問題など社会課題の解決に寄与する取組を創出し、地域と共に、未来を担う子どもたちを支える社会の実現」を目指して、一般社団法人ロングスプーン協会が実施するフードリボンプロジェクトの普及啓発を支援し、「子どもの食の確保支援」の取組を推進する。 FC東京の協力のもと、東京ドロンバを活用した市オリジナルのステッカーやチラシなどのスタートアップキットを作成した。 また、10月31日のロングスプーン協会との連携協定式には、石川直宏コミュニティジェネレーターにも出席していただいた。
今後の方向性や課題等	  フードリボンプロジェクトの周知や事業実施する飲食店舗の募集など広報活動に注力する必要があるため、FC東京と協力して広報活動を行っていく。

所管 児童青少年課

事業名称 児童館交流サッカー大会「J's cup」

継続

実施日 令和7年12月21日(日)

実施内容 市内の児童館や学童クラブで活動している児童が一堂に会し、サッカーを通じて仲間との親睦を深め、チームワークやルールの中でプレイするといったことの大切さを学ぶもの。本事業は、Jリーグが開幕した1993年に調布市でもサッカーで熱く盛り上がりよう！という趣旨からスタートし、その後、FC東京のホームタウンを構成する市の1つとして、サッカー競技への機運醸成をより高めていくことを目的の一つとして実施している。

令和7年度は、調布市制施行70周年記念という節目の大会であり、子どもたちは例年以上に白熱した試合を展開し、当日は、小学生「低学年」のチームを3ブロックに分けて行ったが、なかには、低学年とは思えないほどのパス回しやシュートをする子もいた。参加賞として、FC東京から子ども用Tシャツ(400着)をいただき、子どもたちに配布。Tシャツは参加した子どもたちや保護者からは大変人気があり、サッカー好きな子どもたちにとって、喜ばれるプレゼントとなった。

実施会場：ミズノフットサルプラザ調布

参加人数：30チーム 309人

今後の
方向性や
課題等

- ・例年、参加児童、保護者を含めて、とても盛り上がる事業であり、FC東京の地元として、今後も継続していく。
- ・サッカーに触れることだけではなく、市内の同年齢層の児童とプレイすることで、個々のさらなるレベル向上に繋げ、将来のJリーガー選手を輩出するきっかけとなるようなものとしていきたい。

所管	福祉総務課
事業名称	「社会を明るくする運動」PR活動 継続
実施日	令和7年8月24日（日）
実施内容	8月24日（日）に味の素スタジアムで開催されたF C東京対京都サンガF.C.戦のハーフタイム時に、社会を明るくする運動のマスコットキャラクターのホゴちゃん・サウちゃんと一緒に、社会を明るくする運動の横断幕を持ち、調布保護司会の方々とピッチを周回するなどのPR活動を行った。 マスコットキャラクターたちが横断幕と共にピッチを歩く姿は、当日の来場者27,591人の注目を集め、広報活動として大きな効果があった。 【社会を明るくする運動】 すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築こうとする、全国的な運動。 主唱：法務省
今後の方向性や課題等	

所管	高齢者支援室
事業名称	FC東京 高齢者体操教室 継続
実施日	第1回：10月29日（水） 第2回：11月26日（水） 第3回：12月24日（水）
実施内容	保健師による介護予防の講義後、FC東京のトレーナーの指導で、高齢者向けにアレンジされた運動を楽しむ高齢者体操教室を3回開催。 全身の筋肉をほぐす簡単なストレッチから始まり、最後はサッカーボールを使って運動を実施。毎年リピーターの多い大人気企画である。 会場：文化会館たづくり むらさきホール 対象：65歳以上の医師から運動制限を受けていない市民 参加者：第1回12人、第2回16人、第3回12人
今後の方向性や課題等	 令和4年度まで年1回開催。令和5年度は2回開催。令和6年度からは明治安田様のスポンサー枠を活用し、3回開催。 毎回、参加申込み開始すぐに満員になるほど人気企画であり、多くの市民が参加できるように、年度で1回の参加としている。リピーターも非常に多く、さらに新規の方が参加できるよう、今後、開催方法や回数などを検討していきたい。

所管	障害福祉課
事業名称	F C東京あおぞらサッカースクール 継続
実施日	毎月第2日曜日（8月を除く）ほか年3回交流会
実施内容	主に知的・発達障害がある方向けのサッカースクールです。F C東京コーチ陣に加え、外部コーチ（NPO法人トラッソ）にもお越しいただいている。障害の程度に合わせたクラスを設定をし、手厚いコーチ陣の支援のもと、参加者の得意なこと・できることに合わせた内容で実施。参加者にとって貴重な外出及び運動の機会となっている。 毎月第二日曜日の定例会のほかに年3回「交流会」という形で、試合形式による他チームとのゲームを実施している。 【クラス種別】 ・重度の障害がある方を対象としたエンジョイクラス（小学生クラス定員20人／中学生以上クラス 定員20人） ・軽度、中度の障害がある方を対象としたチャレンジクラス（小学生クラス定員20人／中学生以上クラス 定員20人）
今後の方向性や課題等	 令和5年度からクラス種別を3クラスから4クラスに増やすことで利用者の受け入れを拡大し、それ以降4クラスでの事業実施を継続している。4クラスでの事業実施について、安定的な実施体制支援を行っていく。

所管	障害福祉課	
事業名称	調布市障害者余暇活動支援事業（ほりでーぱらん）	継続
実施日	令和8年3月14日（土）	
実施内容	スポーツなど運動機会が限られてしまう成人の知的障害者を対象に、昨年度に引き続き、今年度もFC東京コーチと一緒にサッカーを楽しむ企画を実施予定です。昨年度は、サッカーボールの感覚に慣れるためのウォーミングアップからスタート。そこからボールを「蹴る」「蹴りながら前進する」等の基本的な動きに慣れていき、徐々にサッカーらしいプログラムへ。ゴールめがけてシュートしたり、壁となっている人を避けながらドリブルしたり、スタッフと一緒に声を掛け合いながら楽しみました。プログラムの後半は簡単なゲームも実践。俊敏な動きから一瞬であちこちにボールが行き来する展開に、応援している参加者も大いに盛り上がりました。 会場：ミズノフットサルプラザ調布 参加費：300円（保険代、飲料水代） 参加人数：25人	
		
今後の方向性や課題等	今年度で開催6年目を迎え、毎年恒例イベントとして実施している。毎年参加してくださる方も多く、ご本人や保護者様からも「とても楽しみにしていました」とのお声をいただいている。 今後の課題として、1点目はweb上で実施会場と自宅や施設を繋ぐなど、重度の障害者も参加できる企画や方法を検討すること、2点目は安定した事業継続のために、スタッフとして協力してくれている市内各事業所の職員やボランティアなどの安定的な確保することの2点がある。	

所管	障害福祉課
事業名称	東京2025デフリンピック普及啓発事業 新規
実施日	令和8年11月7日（金）
実施内容	100周年を迎える聴覚障害者の国際スポーツ大会「デフリンピック」が日本で初めて開催され、市内ではデフバドミントンが京王アリーナTOKYOで行われた。 大会を盛り上げ、調布市手話言語条例や手話を多くの方に知ってもらうため、長友佑都（ながともゆうと）選手からデフリンピックに出場する選手たちへ、そして応援する市民の皆様へ「みんなで一緒に応援しよう！」といった力強いメッセージをいただいた。その他、FC東京ファン・サポーターにお馴染みの公式マスコットキャラクター「東京ドロンパ」にも出演していただき、市の公式SNS（Instagram・YouTube）上でショート動画を公開した。 市公式SNS再生回数（令和8年2月時点） 合計：約2.5万回
今後の方向性や課題等	 本事業における動画出演協力を通じて、市民への発信力を高めることが出来た。今後もスポーツ分野をはじめ市内で行われる各種イベントや啓発活動の機会を積極的に共有し、共生社会の充実に向けた取り組みを協働で展開していきたい。

所管	環境政策課	
事業名称	調布市環境基本計画中間報告会 ～F C東京 石川 直宏氏 トークショー～	新規
実施日	令和7年11月1日（土）（環境フェア同日開催イベントとして実施）	
実施内容	◆目的 次期調布市環境基本計画策定に向けて、現在の市や市民との協働による環境への取組と次期計画の方向について市民に発信するとともに、石川 直宏氏によるトークショーを通じて身近な環境問題に対する市民の関心喚起を図るために開催。 ◆調布市環境基本計画中間報告会実施内容 ・次期調布市環境基本計画策定に向けた市の取り組みについての説明(市) ・市と市民との協働による環境への取り組みについての紹介（ちょうふ環境市民会議） ・F C東京 石川 直宏コミュニティジェネレーターによるトークショー ◆実施日程 11月1日（土） 12時45分～13時20分（35分） ※環境フェアと同時開催したスポGOMI大会in調布の競技終了から表彰式までの集計時間に実施 ◆会場 スポGOMI大会in調布エリア内 (たづくりとアフラックススクエアビルの間道路) ◆参加人数 80人程度	
今後の方向性や課題等	今回は令和7年度中に策定する次期調布市環境基本計画策定に向けた取組の一環として実施した。環境問題への意識や問題解決に向けた考え方について、石川氏の経験等を踏まえた、分かりやすく熱いお話が伺えた。 今後についても市の環境イベントや環境学習の機会にF C東京と連携させていただき、効果的な市民や事業者等への普及・啓発ができればと考えている。	



所管	環境政策課
事業名称	調布市環境フェア 新規
実施日	令和7年11月1日（土）
実施内容	◆目的 子どもたちを始めとする幅広い世代に環境問題をより身近に感じてもらうことを目的として実施しました。環境への関心を高めるためには、楽しみながら学べる工夫が重要であることから、市内で広く親しまれているF C東京に御協力いただいた。 ◆実施内容 環境フェア当日に1回、子どもの参加者を対象としたキャラクター撮影会を実施。撮影会には大勢の子ども達が集まり、大盛況。 また、F C東京サポーターの有志団体であるTOKYO SOCIAL COLLABORATIONの皆さまには環境フェアの本体へご出展いただいた。イベント参加者と一緒にチャリティボールを作成したり、F C東京と環境にまつわる「アオアカ学びクイズ」を実施した。 ◆実施日程 11月1日（土） 午前10時10分～午前10時30分（撮影会） 11月1日（土） 終日（環境フェアへの出展） ◆会場 文化会館たづくり1階エントランスステージ（撮影会） 文化会館たづくり北側道路（環境フェアへの出展） ◆参加人数 延べ約5,800人
今後の方向性や課題等	環境問題をテーマとしたイベントは、内容によっては参加のハードルが高いと感じられてしまうこともあるが、今回F C東京に協力をいただいたことで、これまで以上に多くの方々に足を運んでいただくことができた。 親しみのあるキャラクターや出展ブースをきっかけに、子ども達が楽しみながら環境について触れている姿が印象的だった。今後も環境イベント等で協力いただける機会があれば是非お願いしたい。



所管	環境政策課
事業名称	飛田給駅前クリーン作戦 継続
実施日	令和7年6月19日（木）
実施内容	駅前クリーン作戦は、地元自治会や商店会、事業者のほか、広く地域住民の参加を募り、駅前の清掃活動を行う事業である。飛田給駅はF C東京の本拠地、味の素スタジアムの最寄駅であることから、F C東京コミュニティジェネレーターの石川直宏氏にも参加いただき、サポーターの協力も得て実施している。 なお、飛田給駅前クリーン作戦は、令和元年度の「ラグビーワールドカップ2019（TM）」の開幕を契機に、訪れる観客をきれいな環境で迎えられようとの思いから取組を開始し、令和3年度には、「オリンピック東京2020大会」開催に向けた機運を醸成する効果にもつながった。その後も、駅周辺の美化活動を推進していくため、継続して取り組んでいる。
今後の方向性や課題等	 今年度は従来の地域住民やF C東京関係者以外に、シルバー人材センターからの参加もあり、例年に比べて大変賑やかな開催となった。今後も飛田給駅前の美化活動を継続していく予定であるが、毎年、進んで活動に参加したくなるような企画や仕組みを考えていきたい。

所管	道路管理課	
事業名称	調布市制施行70周年記念看板作成	新規
実施日	令和7年5月30日（金）	
実施内容	実施会場：飛田給駅北口駅前広場北側付近 概要：市制施行70周年記念事業として「飛田給駅における広告の協力」について実施することとした。調布市が市制施行70周年を迎えること、クラブと調布市との連携、美観・環境などの道路の維持保全の周知を目的とし、クラブが中心となって看板を作成した。	
		
今後の方向性や課題等	大きな看板なので目を引き、調布市制施行70周年であることやFC東京と連携していること、美しいまちづくりを目指していることが伝わりやすかった。	

所管	交通対策課
事業名称	高齢者等運転免許自主返納サポート事業 継続
実施日	令和5年1月20日（金）から
実施内容	運転免許証を自主返納した高齢者等が、協力店舗ステッカーを掲示している店舗等で買い物等の際に、運転経歴証明書を提示すると、店舗等の独自のサービスを受けることができるもの。 ＦＣ東京カラーの調布市ロゴを高齢者運転免許返納サポート事業のガイドブック及び店舗ステッカーで使用することで、ＦＣ東京の広報に繋げる。
今後の方向性や課題等	  協力店舗の拡大が課題である。

所管	交通対策課
事業名称	F C東京によるランドセルカバーの寄贈 継続
実施日	令和8年3月
実施内容	調布市立小学校に令和8年4月に入学する新1年生全員を対象に、F C東京マスコットキャラクター「東京ドロンパ」をデザインした反射材素材の黄色いランドセルカバーを、調布市がパートナーシップを結ぶプロサッカーチームであるF C東京及び株式会社M I X Iから寄贈いただいた。 1 F C東京によるランドセルカバーの寄贈について (1) 目的 - ア 新1年生の交通安全を普及啓発 - イ F C東京の社会連携活動の一環として、ホームタウンへ還元 - ウ 基本計画に掲げる「F C東京との協働のまちづくり」の連携事業として、F C東京とのパートナーシップを更に強化 (2) 配布対象 令和8年度入学の小学1年生（約2、200枚） (3) 配布時期 令和8年4月1日（各学校に納品は3月） 2 具体的な内容 (1) デザイン（別紙参照） - ア 東京ドロンパを活用することで、子どもたちにより愛着を持ってもらうデザイン。 - イ 蛍光黄色の生地を採用することにより、これまでよりも目立ち、子どもたちの交通安全に寄与。 (2) その他 以前は調布市が交通安全対策事業の一環としてランドセルカバーを支給していたが、令和7年度新入学生分から本取組を実施。
今後の方向性や課題等	令和7年度新入学生向けに配布したところ、新1年生の反応が好評であったと聞いているので、次年度以降も継続できるように、調整していきたい。



所管	指導室
事業名称	F C東京選手会 小学校訪問授業 継続
実施日	令和7年11月27日(木)
実施内容	F C東京の選手が小学校を訪問し、ボールリフティングやハイタッチリレー対決(児童全員)など子どもたちとの触れ合える活動を実施。また、質問コーナーで夢を叶えるための努力や苦労や子供たちへのメッセージ等、選手と児童が交流を図るもの。 対象：市内小学校のうち1校、小学3年生以上 会場：体育館 参加費：無料 実施校：石原小学校(5年生3クラス99人)   
今後の方向性や課題等	選手と触れ合える機会は子どもたちにとって大変貴重な経験となっているため、今後も継続して実施していきたい。

所管	図書館
事業名称	「F C東京選手の私のすすめるこの一冊2025」発行 継続
実施日	令和7年8月から
実施内容	F C東京の協力を得て「F C東京選手の私のすすめるこの一冊2025」を作成し、1,500部印刷。今年もトップチームの選手から回答をいただくことができた。前年度に引き続き、ジャンルを問わずおすすめの本を選んでいただき、選手集合写真・調布市立図書館FC東京応援展示コーナー写真を巻頭に掲載。 令和7年8月10日「F C東京調布の日」調布市PRブース@アジパندا広場にて、冊子を配布。あわせて中央図書館4階のF C東京応援展示コーナーで配布及び掲載図書展示を行ったほか、市内10分館でも冊子の配布を行った。また、令和7年12月6日に開催された青赤ストリートにおける調布市ブースにて、来場者への冊子配布を行った。 中央図書館4階の展示コーナーでは、FC東京ポスターの貼付やF C東京から提供していただいた映像を流すことで、時期に合わせた展開としている。
	 
今後の方向性や課題等	「F C東京選手の私のすすめるこの一冊2025」を「F C東京調布の日」調布市PRブースで配布し、同時に市内各図書館でも配布した。 例年、ファンの方へ冊子を手渡ししているため、楽しみにされている声を多く聴き、F C東京とファンの方々をつなぐことができていることが実感できた。 中央図書館F C東京コーナーでは、本の紹介・展示、試合の結果などを広報した。多くの利用者が足を止め、関心を持ってもらえた。

所管	調布市スポーツ協会
事業名称	CHOFU SPORTSキャンプ2025 継続
実施日	令和7年8月1日（金）
実施内容	【内容】 スポーツを通して「強くたくましく、友達を思いやる心を育てる」ことを目的とし、夏休みの1日を利用してサッカーとパラスポーツ（ゴールボール）の体験会を行いました。 【会場】 調布市総合体育館 【参加者数】 43人 【FC東京との連携】 (1) サッカー教室の運営・指導 (2) 石川直宏コミュニティジェネレーターのゲスト対応   
今後の方向性や課題等	今後も継続して、開催を予定。

所管 調布市スポーツ協会

事業名称 第11回調布市小・中学生バレーボール交流大会

継続

実施日

小学生／令和7年12月21日（日）
 中学生（男子）／令和7年8月6日（水）
 中学生（女子）／令和7年8月7日（木）

実施内容

【内容】
 市内及び近隣の小中学生を対象としたバレーボールの交流大会

【会場】

小学生／調布市総合体育館
 中学生男子／市立神代中学校
 中学生女子／桐朋女子中・高等学校

【参加者数】

小学生男子&混合／9チーム（106人）
 小学生女子／4チーム（52人）
 中学生男子／5チーム（73人）
 中学生女子／10チーム（146人）

【FC東京との連携】

- (1) 参加賞の提供
- (2) プログラムへの広告掲載



今後の
 方向性や
 課題等

今後も継続して、開催を予定。

所管	調布市スポーツ協会
事業名称	第65回調布市民スポーツ大会 開会式（動画配信） 継続
実施日	令和7年9月5日（金）
実施内容	【内容】 調布市民スポーツ大会開会式は、今年度もYouTubeによる動画配信での開催となった。主催者、来賓あいさつのほか、F C東京をはじめとした、トップスポーツチームの選手より激励のメッセージをいただいた。また、動画を視聴し、調布市スポーツ協会のXをリポストした方の中から各トップチームの選手サイン入りグッズ等が当たるプレゼント企画を実施した。 【会場】 調布市スポーツ協会YouTubeチャンネル 【視聴回数（令和8年3月5日現在）】 375回 【F C東京との連携】 (1) 小泉 慶 選手の出演 (2) サイン入りグッズの提供
今後の方向性や課題等	 今後も継続を予定。

所管	調布市スポーツ協会	
事業名称	第43回調布市民スポーツまつり	継続
実施日	令和7年10月11日(土)	
実施内容	【内容】 味の素スタジアム及び周辺施設にて、様々なスポーツ・レクリエーションに親しむことができるイベントを開催 【会場】 味の素スタジアム、ミズノフットサルプラザ味の素スタジアム 【来場者数】 3,500人 【F C東京との連携】 (1) F C東京サッカークリニックの開催 (2) トークショーへ羽生直剛クラブナビゲーターの出演 (3) キックターゲットコーナーの設置	
	  	
今後の方向性や課題等	当日は雨となり、アトラクション実施場所の変更した。 雨の影響もあり、来場者数は3,500名となりましたが、来場いただいた方にはスポーツを楽しんでいただけた。 また、10/12・13に開催している商工まつりと連携を図ることで、双方の事業に参加を促すことに繋げるなど、相乗効果に努めた。	

所管	調布市スポーツ協会	
事業名称	調布市パラスポーツ体験会	新規
実施日	令和7年11月30日(日)	
実施内容	【内容】 東京2020パラリンピック競技大会によりパラスポーツへの市民の関心が高まっている中、機運の継続と大会を契機としたパラスポーツ振興を図るため、各競技を実際に体験することで、その面白さや魅力を感じ、競技を身近に感じてもらう機会として本事業を開催しました。 【会場】 京王アリーナTOKYO サブアリーナ 【来場者数】 150人 【FC東京との連携】 石川直宏コミュニティジェネレーターのゲスト出演    	
今後の方向性や課題等	来場目標を500人としていたが、実際の来場者数は約150人となり、集客面に課題が残った。 周知方法や告知時期について、市民への情報到達が十分でなかった可能性があり、広報手法の検証が必要である。 イベント内容の魅力が十分に伝わりきらず、参加のハードルが高く感じられた可能性があった。 今後の展開については、関係各所と協議していきたい。	

所管	調布市スポーツ協会	
事業名称	第23回調布フットサル大会	継続
実施日	令和7年12月20日(土)	
実施内容	【内容】 サッカーのまち調布を盛り上げる大会として、F C東京及び味の素スタジアム周辺施設の協力のもとサッカー及びフットサルの普及を目指し、実施しています。 【会場】 ミズノフットサルプラザ調布 【参加チーム数】 ミックスの部／16チーム 一般の部／5チーム 【F C東京との連携】 入賞チームへの賞品提供	
今後の方向性や課題等	  オープン大会のため、市外からの参加者も多くいますが、幅広い年齢層でサッカー・フットサルを楽しめる大会として、今後も継続して開催を予定しています。	

所管	調布市スポーツ協会	
事業名称	第70回調布市民駅伝競走大会	継続
実施日	令和8年1月25日(日)	
実施内容	【内容】 調布市の冬の風物として、調布市の歴史とともに開催される、市民を対象とした駅伝競走大会 【会場】 味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園特設周回コース 【参加者数／来場者数】 305チーム(1,504人)／3,050人 【FC東京との連携】 (1) FC東京賞 (2) 参加賞配付用のランドリーバックの提供 (3) プログラム及び記録集への広告掲載	
今後の方向性や課題等	  第70回大会の取り組みとして、以下4点を実施。 ①一般オープンの部及び近隣中学生男子・女子の部の新設 ②40歳以上の部における、全員が50歳以上で構成されたチームのうち最上位のチームを特別表彰 ③小学生以下の子どもとその保護者を対象としたマラソンイベント実施 ④児童館との連携によるオープニングパフォーマンスの実施 また、アンケートでは、97.9%が「非常に満足」「満足」と回答し、大会全体として高い評価をいただき、味の素スタジアムでの開催による特別感や大会の雰囲気、スムーズな運営に対する満足の声が多く寄せられた。一方で、コース設定、記録確認方法などについて、改善を求める意見も一部見られた。今回の結果を踏まえ、引き続き安全かつ円滑な大会運営に努めるとともに、いただいた意見を参考に改善を図っていく。	

所管	社会福祉法人調布市社会福祉協議会	
事業名称	共同募金調布地区協力会	継続
実施日	令和7年10月25日(土) (VSファジアーノ岡山戦)	
実施内容	・メイン、バックの2か所に加え、アジパンダ広場にて赤い羽根共同募金とF C東京マスコットキャラクター「東京ドロンパ」をデザインしたコラボピンバッジ販売と、募金を頂いた方へ限定デザインの青赤の羽根をお渡しした。バッジは1個500円で販売し、製作費を除いた額を東京都共同募金会へ寄付をした。1,300個を販売したが、完売となった。 ・雨天の中、募金活動にも多くの方が足を止め、募金をしていただいた。	
	 	
今後の方向性や課題等	・限定バッジを毎年楽しみにしている方もいるため、来年度以降も継続していきたい。 ・バッジの販売については支払い方法が現金のみのため、キャッシュレスを希望される方の中には、購入できない方もいたため、今後の検討課題としたい。	

所管	調布市文化・コミュニティ振興財団	
事業名称	「ちょうふ彩咲祭」出前パフォーマンス	新規
実施日	令和7年8月24日（日）	
実施内容	場所：味の素スタジアム 内容：2025明治安田J1リーグ第27節京都サンガ戦において行われた「青赤まつり」に、市内よさこいチーム5チームが「調布よさこい」としてパフォーマンスを披露したほか、総踊り「よっちょれ」をレクチャーし、ファンサポーターなどの来場者が楽しめるよう、会場を盛り上げるための企画を実施した。	
		
今後の方向性や課題等	FC東京サポーターのみなさんに「ちょうふ彩咲祭」や市内チームの活動をアピールすることができ、貴重な機会となった。 時期的な課題感として、熱中症になってしまった踊り手もあり、休憩場所について配慮いただけるとよい。	

所管	調布市文化・コミュニティ振興財団	
事業名称	「ちょうふ彩咲祭」キックターゲット	継続
実施日	令和7年10月4日（土）	
実施内容	場所：調布市文化会館たづくり前（たづくり～アフラック間道路） 内容：来場者向けの縁日会場で、キックターゲットを実施	
今後の 方向性や 課題等	 	
	毎年、実行委員も参加し、子どもを中心とした多くの来場者に人気のコーナーとなっており、今後の継続を希望している。 2025年からは事業をリニューアルし、よさこいに限定せずに様々な団体が参加できるようになった。関係者によるパレード、または実行委員会企画の「みんなのパレード」へ参加するという形態も可能になったため、関係者の方にもぜひ参加してほしい。	

所管	調布市文化・コミュニティ振興財団
事業名称	映画のまち調布 シネマフェスティバル 継続
実施日	令和7年7月1日（火）から同年9月3日（水）まで
実施内容	実施会場：調布市文化会館たづくり、イオンシネマシアタス調布、味の素スタジアム 概要：「映画のまち調布 シネマフェスティバル」とFC東京の連携を図り、調布市民並びにFC東京サポーターへの両者のPRを図る企画を実施。 ＜具体的な取り組み＞ ・第8回日本映画人気投票の投票イベント用グッズへの選手サイン ・6月21日味スタ感謝デーにて選手サイングッズが当たる第8回日本映画人気投票の抽選会実施
今後の方向性や課題等	前回に引き続き、様々な客層へ調布シネフェスをPRすることができ、イベント認知向上に繋げることができた。 今後はFC東京にもメリットを感じていただけるような取り組みを検討したい。

